

特集

華西辺疆研究

華西辺疆研究の歴史と課題 ●……………1

シンポジウム 一一〇世紀前半の華西辺疆研究と華西学派

●李紹明×冉光榮×李錦×石碩×楊天宏×

羅中枢×劉志揚×袁曉文×汪洪亮 ほか 整理 松岡正子……………6

論説

家屋の意義——ギャロン・チベット族の房名継承と親族関係——●李錦……………63

タシユ・チベット族の歴史の記憶と族群の認識 ●袁曉文……………75

東チベットにおける統一戦線活動と政教関係

——キルティ寺とラルン五明仏学院を中心に——●川田進……………91

宗教復興とグローバル化を経た「辺境」のいま

——四川省松潘県のボン教徒をめぐるネットワークの変容—— ●小西賢吾……………111

岷江上流のチャン族と漢族の歴史的関係

——汶川県雁門郷蘿蔔寨村を事例として—— ●耿静……………133

土地への依存と来世現世間の秩序

——白褲ヤオ「牛祭」儀式の文化的意義—— ●張琪……………143

古史伝説における漢「苗」関係と

近代中国における国族構築のプロセス ●李沛容……………157

民国期の四川西北地区における

アヘンの栽培売買と族群政治——雑谷脳河流域を中心に—— ●王田……………173

四川省における〈客家空間〉の生成

——成都市東山地区の都市景観開発を中心として—— ●河合洋尚……………189

書評

西澤治彦・河合洋尚編

『フィールドワーク——中国という現場、人類学という実践』●宮脇千絵……………211

蔵彝走廊の少数民族、その生活と変貌および基層文化

——松岡正子『青藏高原東部のチャン族とチベット族

——2008 汶川地震後の再建と開発』●塚田誠之……………218

松岡正子著『青藏高原東部のチャン族とチベット族

——2008 汶川地震後の再建と開発〔論文篇〕』●河合洋尚……………226

書 訊

Book

荒川清秀著『中国語を歩く——辞書と街角の考現学 パート3』加納希美……………90

見城悌治著『留学生は近代日本で何を学んだのか——医療・園芸・デザイン・師範』砂山幸雄……………110

斉藤日出治著『グローバル資本主義の破局にどう立ち向かうか——市場から連帯へ』高橋五郎……………132